

2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <https://www.nisseiasb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山本 雄一 TEL 0267-23-1560

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の連結業績（2024年10月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	9,440	17.4	2,057	26.1	2,459	103.3	1,711	95.4
2024年9月期第1四半期	8,043	16.0	1,631	24.3	1,209	-	875	-

(注) 包括利益 2025年9月期第1四半期 3,861百万円 (-%) 2024年9月期第1四半期 △205百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	114.14	-
2024年9月期第1四半期	58.40	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	75,555	54,461	72.0
2024年9月期	72,761	52,848	72.6

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 54,413百万円 2024年9月期 52,802百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	-	0.00	-	150.00	150.00
2025年9月期	-	-	-	-	-
2025年9月期(予想)	-	0.00	-	160.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	11.5	9,000	13.8	9,100	13.6	6,350	9.9	423.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期1Q	15,348,720株	2024年9月期	15,348,720株
② 期末自己株式数	2025年9月期1Q	357,576株	2024年9月期	357,576株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年9月期1Q	14,991,144株	2024年9月期1Q	14,991,292株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetおよび当社ウェブサイト同日掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	12
3. 補足情報	13
受注及び販売の実績	13

1. 経営成績の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2024年10月1日～2024年12月31日、以下当四半期）の世界経済は、インフレ圧力の低下を背景に底堅く推移したものの、景気の下振れリスクは高く、金融市場は不安定な状況が続きました。更に、米国大統領選挙後の不確実な政策動向も影響し、経済環境は先行き不透明な状況で推移しました。

一方で、当社グループの属するストレッチブロー成形機業界におきましては、安全で衛生的なプラスチック容器の需要は底堅いものがあり、事業活動は今後も堅調に推移すると思われまます。

こうした環境下、当社グループは「人と社会に豊かさを提供する」「高い技術、サービスで恒久的な存続を追求する」との経営理念に基づき、中長期的な成長発展方針を継続し、事業規模の拡大を見据えた各種戦略的施策の展開に注力しました。

この結果、当四半期の受注成績につきましては、旺盛なプラスチック容器需要を背景に全製品で受注を伸ばした結果、受注高は12,475百万円（前年同期比114.3%）、受注残高は21,400百万円（前年同期末比122.2%）と、それぞれ四半期として過去最高を記録しました。

売上成績につきましても、豊富な受注残高を着実に消化し、主力のストレッチブロー成形機を筆頭に販売を伸ばした結果、売上高は9,440百万円（前年同期比117.4%）と第1四半期として過去最高となりました。

利益面につきましては、売上規模の増加によって段階利益がそれぞれ増加した結果、売上総利益は4,422百万円（同114.8%）、営業利益は2,057百万円（同126.1%）とそれぞれ増益となりました。また、為替相場が前期末に比べ円安となったことで外貨建て資産の評価が差益に転じたため、経常利益は2,459百万円（同203.3%）と大幅増益となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益も1,711百万円（同195.4%）と大幅増益となり、各段階利益で第1四半期として過去最高を記録しました。

当第1四半期連結累計期間における損益の状況は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
前第1四半期	8,043	3,850	1,631	1,209	875
当第1四半期	9,440	4,422	2,057	2,459	1,711
前年同期比	117.4%	114.8%	126.1%	203.3%	195.4%

製品別の業績は次のとおりであります。

製品別受注状況

（単位：百万円）

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
前第1四半期	5,907	2,957	676	1,372	10,913
当第1四半期	6,098	4,202	693	1,480	12,475
前年同期比	103.2%	142.1%	102.6%	107.9%	114.3%

製品別売上高状況

（単位：百万円）

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
前第1四半期	3,516	2,947	350	1,228	8,043
当第1四半期	4,570	2,881	559	1,429	9,440
前年同期比	129.9%	97.7%	159.7%	116.3%	117.4%

① ストレッチブロー成形機

大型機受注は前年同期に比べ減少したものの、主力の中小型機がインド、中南米および欧州で堅調に推移した結果、当四半期の受注高は6,098百万円（前年同期比103.2%）と高水準で終わりました。売上高につきましても、中小型機と大型機をバランスよく販売した結果、4,570百万円（同129.9%）と前年同期を大きく上回りました。

② 金型

ほぼ全世界で受注を伸ばした中、特に中南米とインドが好調に推移したため、当四半期の受注高は4,202百万円（同142.1%）と四半期として過去最高を記録しました。一方、売上高につきましてもは2,881百万円（同97.7%）と減少したものの、前四半期の受注の一時的な落ち込みによるものであり、受注残高も豊富なため特段問題はありません。

③ 部品その他

前期同様に好調を維持しており、特にインドと米州で好調を維持した結果、当四半期の受注高は1,480百万円（同107.9%）、売上高は1,429百万円（同116.3%）と、それぞれ四半期として過去最高を記録しました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント（地域）別受注状況

（単位：百万円）

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
前第1四半期	3,516	1,802	2,920	2,674	10,913
当第1四半期	4,237	2,401	3,914	1,922	12,475
前年同期比	120.5%	133.3%	134.1%	71.9%	114.3%

セグメント（地域）別売上高状況

（単位：百万円）

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
前第1四半期	2,988	1,680	2,484	890	8,043
当第1四半期	2,990	1,610	2,940	1,898	9,440
前年同期比	100.1%	95.8%	118.4%	213.2%	117.4%

セグメント（地域）別利益

（単位：百万円）

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
前第1四半期	445	174	375	1,258	2,253
当第1四半期	491	242	501	1,854	3,090
前年同期比	110.3%	139.1%	133.5%	147.4%	137.1%

① 米州

好調な中南米地域に加え、北米市場も堅調に推移した結果、当四半期の受注高は4,237百万円（前年同期比120.5%）と四半期として過去最高を記録しました。売上高につきましても、豊富な受注残高を着実に消化した結果、2,990百万円（同100.1%）と高水準となり、セグメント利益も491百万円（同110.3%）と増益となりました。

② 欧州

経済環境には不透明感が見られるものの、主力の中小型機の需要が好調に推移した結果、当四半期の受注高は2,401百万円（同133.3%）と四半期として過去最高を記録しました。一方、売上高につきましてもは1,610百万円（同95.8%）とわずかに減少したものの、前年同期並みの水準を維持しました。なお、セグメント利益は製品ミックスの改善等により242百万円（同139.1%）と増益となりました。

③ 南・西アジア

東南アジア市場は市況回復に時間を要しているものの、インド及び中東市場が好調に推移した結果、当四半期の受注高は3,914百万円（前年同期比134.1%）と四半期として過去最高を記録しました。売上高につきましても、両市場が好調に推移した結果、2,940百万円（同118.4%）と高水準となり、セグメント利益も501百万円（同133.5%）と増益となりました。

④ 東アジア

中小型機の受注は堅調に推移したものの、前年同期にあった大口案件（日本市場でのPF36受注）が剥落したため、当四半期の受注高は1,922百万円（前年同期比71.9%）と減少しました。一方、売上高は日本市場でのPF36の出荷など、豊富な受注残高を着実に消化した結果、1,898百万円（同213.2%）と増収となり、セグメント利益も1,854百万円（同147.4%）と増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末（以下、当期間末）の流動資産は、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ1,845百万円増加し、56,952百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ948百万円増加し、18,602百万円となりました。この結果、当期間末の資産合計は、前期末と比べ2,793百万円増加し、75,555百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ1,461百万円増加し、13,324百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ280百万円減少し、7,769百万円となりました。

純資産は、前期末と比べ1,612百万円増加し、54,461百万円となりました。

（資産、負債及び純資産の状況）

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
前期末	55,106	17,654	11,862	8,050	52,848
当期間末	56,952	18,602	13,324	7,769	54,461

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の連結業績予想につきましては、2024年11月12日公表の予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,439	28,382
受取手形及び売掛金	7,072	7,560
商品及び製品	2,604	2,977
仕掛品	8,012	8,494
原材料及び貯蔵品	7,561	8,177
その他	1,533	1,513
貸倒引当金	△117	△153
流動資産合計	55,106	56,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,113	5,308
機械装置及び運搬具(純額)	5,709	5,797
土地	1,988	1,988
その他(純額)	2,919	3,270
有形固定資産合計	15,730	16,365
無形固定資産	127	145
投資その他の資産		
投資有価証券	449	562
その他	1,442	1,635
貸倒引当金	△95	△106
投資その他の資産合計	1,796	2,091
固定資産合計	17,654	18,602
資産合計	72,761	75,555

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,270	2,096
短期借入金	1,493	1,493
未払法人税等	473	782
契約負債	4,889	6,201
賞与引当金	674	312
役員賞与引当金	39	45
その他	2,022	2,391
流動負債合計	11,862	13,324
固定負債		
長期借入金	6,118	5,744
役員退職慰労引当金	565	579
退職給付に係る負債	1,107	1,191
その他	259	253
固定負債合計	8,050	7,769
負債合計	19,912	21,093
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	45,665	45,128
自己株式	△302	△302
株主資本合計	52,420	51,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224	295
為替換算調整勘定	230	2,309
退職給付に係る調整累計額	△71	△74
その他の包括利益累計額合計	382	2,530
非支配株主持分	45	47
純資産合計	52,848	54,461
負債純資産合計	72,761	75,555

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	8,043	9,440
売上原価	4,192	5,017
売上総利益	3,850	4,422
販売費及び一般管理費	2,219	2,364
営業利益	1,631	2,057
営業外収益		
受取利息	52	49
受取配当金	5	7
為替差益	—	343
その他	16	33
営業外収益合計	74	433
営業外費用		
支払利息	10	8
為替差損	406	—
固定資産除却損	0	9
訴訟関連費用	16	3
その他	62	8
営業外費用合計	495	30
経常利益	1,209	2,459
税金等調整前四半期純利益	1,209	2,459
法人税、住民税及び事業税	298	804
法人税等調整額	37	△54
法人税等合計	335	749
四半期純利益	874	1,710
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	875	1,711

(四半期連結包括利益計算書)

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	874	1,710
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	71
為替換算調整勘定	△1,069	2,081
退職給付に係る調整額	1	△2
その他の包括利益合計	△1,080	2,150
四半期包括利益	△205	3,861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△204	3,859
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

偶発債務

インドの連結子会社 (ASB INTERNATIONAL PVT. LTD.) はインド国税当局より、関係会社間取引価格等に関し、下表表示の同社決算期 (3月期) 8期を対象として更正通知を受けております。インド国税当局の指摘は正当な根拠を欠くものであり、当該更正処分について承服できる内容でないことから、同社はインド国税当局 (紛争解決委員会) に対し、各決算期についてそれぞれ異議申立書を提出いたしました。異議申立が却下された各決算期については、税務裁判所へ提訴するとともに、相互協議申立を進め、引き続き当社及び連結子会社の見解の正当性を主張してまいります。

なお、2010年3月期、2011年3月期、2012年3月期及び2013年3月期については、税務裁判所において、インド国税当局の更正通知の決定を取り消し、本件の審理を同当局へ差し戻す旨の判決がありました。そのうち、2010年3月期及び2011年3月期については、同当局より更正処分取り消しの通知を受領し解消いたしました。

同社が更正通知を受け、未解消となっている案件の決算期ごとの状況は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
(1) 2012年3月期		
更正通知の受領	2016年2月29日	2016年2月29日
更正通知税額	129百万インドルピー (221百万円)	129百万インドルピー (240百万円)
異議申立書の提出	2016年4月12日	2016年4月12日
申立却下の決定	2016年11月29日	2016年11月29日
税務裁判所へ提訴	2017年3月14日	2017年3月14日
更正通知税額	122百万インドルピー (209百万円)	122百万インドルピー (227百万円)
税務裁判所の判決	2019年9月13日	2019年9月13日
(2) 2013年3月期		
更正通知の受領	2016年11月29日	2016年11月29日
更正通知税額	57百万インドルピー (98百万円)	57百万インドルピー (106百万円)
異議申立書の提出	2017年1月6日	2017年1月6日
申立却下の決定	2017年8月28日	2017年8月28日
税務裁判所へ提訴	2017年12月21日	2017年12月21日
更正通知税額	61百万インドルピー (105百万円)	61百万インドルピー (114百万円)
税務裁判所の判決	2019年9月13日	2019年9月13日
(3) 2014年3月期		
更正通知の受領	2017年11月30日	2017年11月30日
更正通知税額	40百万インドルピー (68百万円)	40百万インドルピー (74百万円)
異議申立書の提出	2017年12月29日	2017年12月29日
申立却下の決定	2018年8月27日	2018年8月27日
税務裁判所へ提訴	2018年11月2日	2018年11月2日
更正通知税額	40百万インドルピー (69百万円)	40百万インドルピー (75百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
(4) 2015年3月期		
更正通知の受領	2018年12月12日	2018年12月12日
更正通知税額	126百万インドルピー (216百万円)	126百万インドルピー (235百万円)
異議申立書の提出	2019年1月11日	2019年1月11日
申立却下の決定	2019年9月24日	2019年9月24日
税務裁判所へ提訴	2019年12月30日	2019年12月30日
更正通知税額	126百万インドルピー (216百万円)	126百万インドルピー (235百万円)
(5) 2016年3月期		
更正通知の受領	2019年12月25日	2019年12月25日
更正通知税額	38百万インドルピー (66百万円)	38百万インドルピー (71百万円)
異議申立書の提出	2020年1月23日	2020年1月23日
申立却下の決定	2021年3月4日	2021年3月4日
税務裁判所へ提訴	2021年5月25日	2021年5月25日
更正通知税額	38百万インドルピー (66百万円)	38百万インドルピー (71百万円)
(6) 2017年3月期		
更正通知の受領	2021年4月20日	2021年4月20日
更正通知税額	63百万インドルピー (108百万円)	63百万インドルピー (117百万円)
異議申立書の提出	2021年5月29日	2021年5月29日
申立却下の決定	2022年2月17日	2022年2月17日
税務裁判所へ提訴	2022年4月12日	2022年4月12日
更正通知税額	80百万インドルピー (138百万円)	80百万インドルピー (150百万円)
(7) 2018年3月期		
更正通知の受領	2021年9月22日	2021年9月22日
更正通知税額	98百万インドルピー (168百万円)	98百万インドルピー (182百万円)
異議申立書の提出	2021年10月21日	2021年10月21日
申立却下の決定	2022年8月29日	2022年8月29日
税務裁判所へ提訴	2022年10月27日	2022年10月27日
更正通知税額	97百万インドルピー (166百万円)	97百万インドルピー (181百万円)
(8) 2020年3月期		
更正通知の受領	2023年9月29日	2023年9月29日
更正通知税額	51百万インドルピー (87百万円)	51百万インドルピー (95百万円)
異議申立書の提出	2023年10月23日	2023年10月23日
申立却下の決定	2024年7月5日	2024年7月5日
税務裁判所へ提訴	2024年8月30日	2024年8月30日
更正通知税額	87百万インドルピー (150百万円)	87百万インドルピー (163百万円)
(注)	更正通知受領時と税務裁判所提訴時の更正通知税額の差額は、更正通知税額の増減及び金利相当分の増加であります。	

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）
減価償却費	461百万円	476百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	2,988	1,680	2,484	890	8,043	—	8,043
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,988	1,680	2,484	890	8,043	—	8,043
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	6	2,570	4,500	7,091	△7,091	—
計	3,002	1,687	5,054	5,390	15,134	△7,091	8,043
セグメント利益	445	174	375	1,258	2,253	△622	1,631

(注) 1. セグメント利益の調整額△622百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△672百万円、セグメント間取引消去50百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	2,990	1,610	2,940	1,898	9,440	—	9,440
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,990	1,610	2,940	1,898	9,440	—	9,440
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27	30	3,038	4,688	7,786	△7,786	—
計	3,018	1,641	5,979	6,587	17,226	△7,786	9,440
セグメント利益	491	242	501	1,854	3,090	△1,032	2,057

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,032百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△735百万円、セグメント間取引消去△297百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の実績

① 受注実績

製品別	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	5,907	9,556	6,098	12,349	103.2	129.2
金型	2,957	6,432	4,202	7,051	142.1	109.6
付属機器	676	1,209	693	1,607	102.6	133.0
部品その他	1,372	321	1,480	392	107.9	122.1
合計	10,913	17,518	12,475	21,400	114.3	122.2

セグメント別	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
米州	3,516	5,239	4,237	6,671	120.5	127.3
欧州	1,802	2,258	2,401	2,786	133.3	123.4
南・西アジア	2,920	5,165	3,914	5,903	134.1	114.3
東アジア	2,674	4,854	1,922	6,038	71.9	124.4
合計	10,913	17,518	12,475	21,400	114.3	122.2

(注) なお受注高の計算に際しては、前期以前に受注した案件のキャンセルは前期末受注残高より控除しております。

② 販売実績

製品別	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ストレッチブロー成形機	3,516	43.7	4,570	48.4	129.9
金型	2,947	36.6	2,881	30.5	97.7
付属機器	350	4.4	559	5.9	159.7
部品その他	1,228	15.3	1,429	15.2	116.3
合計	8,043	100.0	9,440	100.0	117.4

セグメント別	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
米州	2,988	37.1	2,990	31.7	100.1
欧州	1,680	20.9	1,610	17.1	95.8
南・西アジア	2,484	30.9	2,940	31.1	118.4
東アジア	890	11.1	1,898	20.1	213.2
合計	8,043	100.0	9,440	100.0	117.4